



2025年11月4日

各 位

上場会社名 任天堂株式会社
代表者 代表取締役社長 古川 俊太郎
(コード番号:7974 東証プライム市場)
問合せ先責任者 経営統括本部長 三宅 浩二
(TEL 075-662-9600)

剰余金の配当(中間配当)、配当方針の変更および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年11月4日開催の取締役会において、下記のとおり2025年9月30日を基準日とする剰余金の配当および配当方針の変更を行うことを決議しましたのでお知らせします。また、2025年5月8日に公表しました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の配当予想についても、下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 決議した配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月8日公表)	前期実績 (2025年3月期 中間期)
基準日	2025年9月30日	同左	2024年9月30日
1株当たり 配当金	42円	未定	35円
配当金総額	48,898百万円	—	40,748百万円
効力発生日	2025年12月1日	—	2024年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当方針の変更

(1) 変更の理由

当社グループが営む娯楽ビジネスは、変化が激しく先行きが読みづらいものであるため、利益連動を基本とする期間損益に基づいた配当を行うことが事業特性に合った株主還元であると考えており、配当を株主還元の基本方針としています。

この株主還元の基本方針に変更はありませんが、昨今の当社グループの事業環境および財政状態を勘案し、この度、株主の皆様への利益還元の姿勢をより明確にするため、次のとおり配当方針を変更します。

(2) 変更内容

(下線は変更部分を示す)

変更前	変更後
連結営業利益の33%を配当金総額の基準とし、期末時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満を切り上げた金額か、もしくは連結配当性向50%を基準として1円未満を切り上げた金額の、いずれか高い方を、1株当たり年間配当金とする。 また、中間配当金については、中間期の連結営業利益の33%を中間期末の配当金総額の基準とし、その時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満を切り上げた金額を1株当たり中間配当金とする。	連結営業利益の40%を配当金総額の基準とし、期末時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満を切り上げた金額か、もしくは連結配当性向60%を基準として1円未満を切り上げた金額の、いずれか高い方を、1株当たり年間配当金とする。 また、中間配当金については、中間期の連結営業利益の40%を中間期末の配当金総額の基準とし、その時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満を切り上げた金額を1株当たり中間配当金とする。

(3) 適用時期

2026年3月期(当期)の期末配当より適用します。

3. 配当予想修正の内容

	年間配当金(円)		
	中間	期末	合計
前回予想 (2025年5月8日公表)	未定	未定	129
今回予想		139	181
当期実績	42		
前期実績 (2025年3月期)	35	85	120

4. 配当予想修正の理由

当社の従来からの配当方針(上記2の変更前の方針)に基づき、中間配当金は1株当たり42円となります。年間配当金につきましては、新しい配当方針(上記2の変更後の方針)および本日(2025年11月4日)公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通期業績予想の修正を勘案し、1株当たりの年間配当金は前回予想から52円増額し181円、1株当たりの期末配当金は139円となる予定です。

なお、2026年3月期の連結業績予想を通期のみで作成しており、中間と期末の配当を分けて予想することができないため、前回予想については年間配当金の合計のみを記載しています。

※ 将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、為替レートの変動や、その他市場環境の変化などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績および配当金を含みますが、これらに限りません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。

以 上